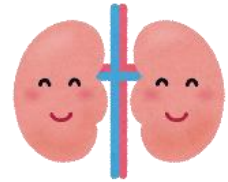


気づきにくい

じんぞうびょう
腎臓病



1. 腎臓（じんぞう）とは

腎臓は、腰のあたりに2つある臓器です。

からだの中の余分な水分や老廃物を体外に出すため、おしっこを作っています。

貧血・血圧・骨に関するホルモンも分泌しています。

2. たんぱく尿

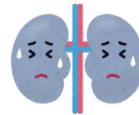
尿検査で、たんぱく尿が（+）陽性の場合、腎臓に何らかの病気があることが疑われます。

たんぱく尿があっても、ほとんどの場合**自覚症状がありません**。

しかし、**放っておくと**腎臓のはたらきが低下して、

透析や腎移植が必要な**末期腎不全になってしまう危険**があります。

3. 腎臓のはたらきの指標（eGFR）



健康診断等の血液検査で、

すいてい しきゅうたいりょうかりょう
推定糸球体濾過量（eGFR）という項目をご覧になったことはありますか？

これは、簡単に言うと腎臓のはたらきを%（パーセント）であらわしたものです。

正常に比べて60%未満にまで低下している人は、

末期腎不全だけでなく心筋梗塞や脳卒中、血管の病気などのリスクが高くなります。

4. あなたの腎臓を守るために

尿検査でたんぱく尿（+）陽性や、腎臓のはたらきが低下している場合には、

きちんと診療所や病院を受診しましょう。

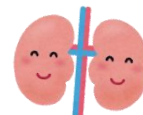
高血圧、貧血、むくみの原因が腎臓病であることもあります。



腎臓病が重症であれば、専門医への受診が必要になります。

腎臓を守るお薬や、食事をはじめとする生活習慣の見直しで、

多くの場合は腎臓病の進行を遅らせることができます。



中部ろうさい病院では、

腎臓内科医師の専門外来を窓口に、

看護外来、透析室、病棟、栄養士、相談員など連携体制を整えています。

